



問 充実した教育環境の整備について

答 教職員の安全と健康の確保により快適な職場環境の形成に取り組む

よりよい「まちづくり」には教育環境の充実が不可欠と認識しているが。

問 教職員のメンタルヘルスについて。

教育次長 教職員の健康リスク管理については、年1回ストレスチェックを実施しています。健康問題の危険度を示す健康リスクは、全国平均100に対し71と非常に良い結果ですが、気になるストレス反応は、小中学校とも疲労感

を訴えている教職員が全国平均より若干多くなっています。これらの結果を学校長と共有し、快適な職場環境の形成に努めていきます。

問 教職員の働き方改革について。

教育次長 教職員の働き方改革を推進するため、業務改善、働きやすい職場に向けた体制づくり、働きがいの創出に取り組んでいます。さらに、町雇用教職員を活用し、充実

した学校組織体制にも努めているところです。

問 コミュニティ・スクールの推進について。

教育次長 本町では、教育委員会配属の社会教育主事がコーディネーターとなり五霞小学校、五霞中学校合同の学校運営協議会を設置しました。委員は、学校評議員経験者、PTA会長等の12名で構成され、より良い教育環境の充実に尽力いただいています。

問 町職員のスキルアップ研修について

答 職員研修計画に基づき計画的に職員研修を実施し、人材を育成している

町発展には今後、年功序列に加え能力主義による評価制度の導入も検討の余地があるのではないか。

問 現在の職員研修のあり方について。

総務課長 日常の業務を通じて必要な知識を習得する業務内研修と階層別や分野別に行う専門研修の2つに分けて実施しています。

問 男女雇用機会均等法を踏まえた女性職員の管理職登用について。

総務課長 町では、調和のとれた組織づくりのため男女問わず意欲と能力のある職員を管理職に登用する方針です。

問 まちづくり懇談会について

答 住民からのご意見、ご要望は各課で共有し、適切に対応していく

出席者がやや少ないように思われるが、開催方法等を検証する必要があるのではないか。

問 出席者の動向とその効果は。

総務課長 出席者については左表のとおりです。住民の皆様から直接ご意見、ご要望等について意見交換ができる大切な場と認識しています。

年 度	開催方法	出席人数
令和元年度	行政区単位	238人
令和2～4年度	※コロナ禍により中止	—
令和5年度	町内5か所	171人
令和6年度	〃	97人

